

上賀茂の郷も桜花の候を迎えました。

今年は何年とは違った想いを抱いて花を見上げる人が多いことでしょうか。東の地に起こった甚大な災害は、離れた地に住む我々にも大きな影を落としています。

先の阪神大震災の折、私は丹波に住まいを持っていましたが、丁度東京で作品展開催中であり、地震の体験はありません。

直ぐに関西へ戻り、友人・知人と協力して実働しました。

約一月の間でしたが、物資を持ち 総菜等を作つて、度々被災地へと通いました。じつとしていることが出来なかつたのです。

この度の災害については、ニュースを通じて情報を得ていますが、想像を超える惨状に言葉を失うばかりです。

私の頭の中では「何かしなくては」との思いが渦を巻き、裏腹の非力な実情に自身を呪うばかりです。

絵描きの私が出来ることとは、やはり絵を描くこと―その思いにただり着き、鎮魂の絵を描くことにしました。

私のライフワークは『能絵』ですが、今は私なりの『吉祥天女』を描いています。災害によって命を落とされた方、恐ろしい思いをされた方、悲しい 苦しい 思いをされている方々、そして私自身の救いを願つて、筆を執っています。

心の安まる日を早く迎えることができますように 合掌

二〇一一年 卯月 浅山 澄夫

勝山城博物館では毎年春にお茶会が開かれます。

来年は開館式拾年の記念年。 今回の作品展はプレ・イベントとなります。東地域の分も、西地域はより活発に動かなくてはなりません。皆さま どうぞお出かけ下さいませ。

拙い文ですが、私の能絵展のご案内とさせて頂きます。

『吉祥天女』も出品予定です。